

## 創業以来培った高度な印刷技術と最新の情報技術 印刷情報産業を通じて地域・社会に貢献

同社は、創業115年になる県内屈指の歴史ある総合印刷会社である。主としてパンフレットやクリアファイルなどの印刷業を営んでいる。近年では、長年培ってきた高い技術力と企画力を活かして、ウェブ事業やイベント事業など多角化を図っている。西尾市観光協会と連携し、観光パンフレットや観光ホームページの作成に携わるとともに、地域情報誌「みどり」の企画・発行を約27年間継続的に行うなど、三河地域の情報を発信し続けてきた。2020年にこれらの取組が評価され「地域未来牽引企業」に追加選定されている。

所在地 愛知県西尾市道光寺町東縄65番地  
電話/FAX 0563-56-5111 / 0563-56-5166  
URL <https://www.micg.co.jp/>  
代表者 代表取締役社長 三浦 康太郎

設立 1905年  
資本金 4,950万円  
従業員数 106人



### 創業以来の印刷技術の継承と、強みを活かした事業の多角化

同社はUV特殊印刷により、クリアファイル素材やポリカーボネートへの印刷、3D印刷など紙以外への印刷も可能。擬似エンボス印刷という技術を用いたカタログ、会社案内、クリアファイル等への印刷にも注力しており、全国的にも優位性を持つ。近年は、長年培ってきた高い技術力、企画力、デザイン力や多くの協力会社との関係性を活かし、ウェブ事業、周年支援事業、BPO支援事業、イベント事業など事業を多角化。印刷関連事業全般を請負うことで、持続的な収益につながるビジネスモデルを構築している。



擬似エンボス印刷

### 社員や地元企業を巻き込んだ、観光関連事業への取組と地域貢献

同社は、西尾市や近隣市町村から9割を採用するなど、地元、三河地域の多様な人材を積極的に採用している。三河地域の情報の収集・集積を図ることで、地域の観光支援に活用。地域内の観光需要の掘り起しとともに、愛知県内の他地域や全国からの観光客の誘致に積極的に取り組んでいる。また、「ワンポイント布マスク」や「紙製の使い捨てマスクケース」など、社員からのアイデア公募で生まれた商品や、地元企業・協力企業とのコラボ商品を開発。新型コロナウイルスの影響を乗り越えてV字回復を目指している。



紙製の使い捨てマスクケース

### 「MICユニバーシティ」と「教育向上委員会」による継続的な社員の能力開発

2018年より社内勉強会「MICユニバーシティ」を年4回開催。講師も社員が務め、会社のこと、デザインのこと、設備のことなどを改めて勉強する機会を設けている。従業員の能力向上とともに、自由参加にもかかわらず毎回全社員の7割が参加するなど他部署との交流の機会にもなっている。また、2019年から教育体制の再構築のため「教育向上委員会」を立ちあげた。新入社員用に作業マニュアルを作成するとともに、メンター制度を導入。新入社員を見守り・定着させる体制を構築し、継続的な成長に繋がる取組を行っている。



「MICユニバーシティ」の様子